商店街の歩行者安全対策は

活を送るためには、

閉じこ した生

や閉じこもり防止などに有た建物を使用し、健康保持

もりや認知症を防ぐことが

質問

高齢者が自立

るよう、

民家などを改修

小池 郎 議員

で精神的にサポ

には利用者に応じた広さの

いる。しかし、施設の設置効な施設であるといわれて

しかし、

趣味活動、

子どもと -トを行っ 一緒に話や食事をすること

大事である。

そのためには、

いるが

答 拡幅など再三要望して



は図られていない現状にあ 物客に対する歩行安全対策 質問 青梅街道商店街の買 個店活性化については

ため困難との見解である。 で可能な安全対策を警察も 町としては、

いる都には、

青梅街道を管理して

危険性を訴え

の具体策について町長の所その後の取り組みと、今後

対策は上げられているが、 店街振興プラン」にも安全 平成15年3月に示された「商

に深刻な状況を招いている。

顧客の減少がさら

ある。

しかし、

既存商店街

ず全体的に成果を上げつつ

「こだわりの店」をはじめ

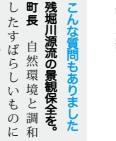
町も支援を惜しま

の買物客は通過車両に締め

望している。しかし、都は、再三拡幅や歩道の設置を要

り、拡幅を伴った整備につ況での歩道設置は困難であ幅員が7m程度と狭く、現 とから、 償等に莫大な費用がかかる いては密集市街地であるこ 用地買収や移転補 都と現時点

> ていきたい 交え、 よく協議し、 検討し





歩道のない青梅街道(箱根ヶ崎商店街)

(瑞) お年寄りの居場所づくりを 小川 議員(公) 龍美

供するなど、様々な機能をの機会、生きがいの場を提地域支援事業として、外出介護保険制度改正に伴い、

民の自発的な取り組みが

場所が必要となる。そこで、 をもつなど、お年寄りの のふれあいを通し生きが



組むべきと考えるが、町長備えた宅老所の建設に取り

こんな質

向もありました

地域住民の自発的な取り組みに期待

町長 宅老所は高齢者等が の所見を伺う。

宅老所内での介護サービス

研鑽する場や能力を伸ば瑞穂の子どもたちに一層 してはどうだろうか。また、 その際、教育基金の原資の で提供している教職員の校 で提供している教職員の校 内駐車場を有料化し、基金 に充当することを提言する 提供することは、いずれもその能力を伸ばせる機会を 町として、教育基金を創設 社会の責務である。そこで、 提供することは、 力を有する学生が、 さらに

自司令部の横田基地への移の永久固定化につながる空基地との往来も増し、基地とはありえない。自衛隊各

であり、

町の将来を思い

い限りは国策に協力すべき耐え難いほどの負担でな

り、理解に苦しむ。たとえるることはあっても減るころるべきではない。自衛隊のどんな条件があっても認めどれな条件があっても認め

著しい場合は、

国に対し強

く申し入れる所存である。

駐に伴う自衛隊機の騒音が

り、理解に苦しむ。たとえれは、住民や議会の意向をれは、住民や議会の意向をとらえない突然の行動であとらえないにが、こ

あって、 町 長

初めて瑞穂町の安

私は、

日本の安全が

全があると考えて

いる。

もし、

航空総隊司令部移

航空自衛隊航空総隊司2 石塚町長は、2月11

を 町長の 駐容認は、

町長の所見を伺う。認は、撤回すべきでな

きであ

証する、

地を利用した駐車料金につき方向性を見出したい。また、教職員の学校内敷重要である。町での教育委重要である。町での教育委

いては、教育委員会と十分がの結論を得たいと考えてお説について判断し、有料の結論を得たいと考えていては、教育委員会と十分のおいては、教育委員会と十分のもいては、教育委員会と十分のものという。

基地対策特別委員会が入間基地を視察

航空自衛隊司令部横田移駐容認の撤回を

「撤回」の考えはない

四男美 議員(住)

教育基金を創設してはどうか

答

分検討し

て方向性を見出

したい

亘

議員 (み)



瑞穂中学校の教職員駐車場

-19-

-18 -

図り策定したい。 食育推進計画の策定は。

を